

# よこはま港



PORT OF YOKOHAMA  
Public Relations Magazine

## 特集 横浜港で活躍する ムバな女子

埠頭の歴史は横浜港の大さん橋から始まった  
大型連載企画  
『横浜埠頭物語』



謹賀新年



一般社団法人 横浜港振興協会  
PORT OF YOKOHAMA PROMOTION ASSOCIATION



マイクロバス・ドライバー 草壁直美さん

横

浜港周辺で1日に一度は見かける、青と白のツ

ートンカーのマイクロバスといえば、市民の足として重宝されている「シティアクセス」。草壁直美さんは「シティアクセス」では紅一点のドライバーとして日々活躍しています。

大黒、本牧、南本牧ふ頭で働いている人の送迎が主な仕事。朝は午前6時半頃から横浜駅と各ふ頭までを3往復、夕方も同様にバスを走らせます。昼間は幼稚園児の送迎や観光客を乗せて横浜市内を案内します。OL時代は仕事に虚しさを感じて「もっと、やりがいのある自動車の運転ができる仕事につきたい」と思っていました。先輩に相談したところ「取得するなら大型二種免許を目指せ、仕事の幅が広がる」とアドバイスを受け、二種免許試験に挑戦しました。「自動車の運転が好きなんです」と話す草壁さん。今はお客さまを乗せて楽しく仕事をしています。

仕事上で“つらい事”は？との質問に「バスの清掃はかなりハードです。でも、お客さまには気持ちよく乗っていただきたいので、車内を綺麗にするよう心掛けています」と答

## お客さまには気持ちよく乗っていただきたい

マイクロバス・ドライバー 草壁 直美さん

えてくれました。「休みはしっかり取れるので、趣味の旅行に行くことができます」と話す草壁さんは、今年はギリシャに行つて来たそうです。次回は南米のボリビアが行きたい候補地のようです。

「私にとって働きやすい環境の会社に就職したと思います。頑張つて働くので、ずっとお世話になりたいと希望しています」。入社9年目のドライバー草壁直美さんは、安全運転をモットーに今日も横浜市内を快走しています。



安全運転で横浜市内を走る